

# 阿智村教育委員会 令和7年11月定例会会議録

○ 会議日時 令和7年11月21日(金) 午後1時30分

○ 会議場所 阿智村中央公民館 会議室

○ 出席者 教育長：黒柳紀春 委員：熊谷均

委員：塚田宏子 委員：片桐瑞木

## 【事務局】

教育次長：實原信夫（全体進行）

社会教育係長：中里信之 保育園総園長：沖村信繁

学校教育係：村田浩一 学校教育専門主事：松澤徹

学校教育専門主事：川上清宏 学校教育専門主事：佐々木豊

(欠席)

教育長職務代理：原勝人 こども家庭センター長：島岡佐喜子

英語教育専門員：両角明浩

## 1 開会

## 2 教育長あいさつ

(1) 阿智第一小学校への外国籍児童の編入学について

(2) いじめ「重大事態」の対応について（11.18 信濃毎日新聞参照）

(3) その他

## 3 議事事項

(1) 12月定例議会教育委員会関係一般会計補正予算について

・教育次長、保育園総園長、社会教育係長説明

・承認

## 4 協議事項

(1) 学校のあり方検討委員会の進捗状況について

・松澤学校教育専門主事説明

(教育長)

担当から説明がありましたが、保育園と小学校の保護者対象の懇談会には学校の先生方も加わっていただき、発言いただいたのは良かったと思います。質疑いかがでしょうか。

(委員全員)

・特になし

## 5 報告・連絡事項

### (1) 各係から

- ① 阿智村教職員 I C T 研修会について（学校教育係）
- ② 第3回算数・数学検定について（学校教育係）
- ③ 第2回英語検定の結果について（学校教育係）
- ④ 第5回阿智村夢みらいキャリアメッセ実施報告について（学校教育係）
- ⑤ ふるさと学習発表会について（学校教育係）
- ⑥ 阿智村学力向上に向けた取り組みについて（学校教育係）

（教育長）

18ページ、19ページの全国学力学習状況調査で比較した正答率の分布状況で、上位層が少なく下位層が多いというのはよく分かります。今年、県の武田教育長は伸びる力を伸ばす「仕組み」を作らなければいけないと発言されているので、阿智村教育委員会としても来年度、阿智中学校2・3年生の英語と数学において習熟度別授業の実施を検討していただいているところです。

（熊谷 均 委員）

昨年、若駒アカデミーを見させていただき、かなり生徒の学力差があるように見えました。勝手な発言ですが、授業といわずにもう個別の環境を作って習熟度別で学習をやっていかないと、伸びる生徒は伸びないし、分からぬ生徒は分からないまままで済んでしまうと思うので、あり方を再検討してもらうといいかなと思います。

（教育長）

放課後学習教室で指導いただいている片桐委員はいかがでしょうか。

（片桐 瑞木 委員）

放課後学習につきましては、英語検定4級を受ける子と5級を受ける子とが混合する場合は、指導が難しいと感じることはあります。英語検定においては読めることが第一なので、私は割とフォニックスを中心に文法の指導より、まず読める力を伸ばしていこうということに力を入れていたので、ヒアリングテストで児童の8割ほどの正答率で、聞く力がついてきているとの結果が出て良かったと感じます。理想をいうと、4級を受ける子と5級を受ける子と別々に指導ができるならもっと文法的なところも丁寧に教えてあげられると感じますが、人数的にも難しいところですかね。

若駒アカデミーは、生徒たちの人数が少ないクラスによっては性格が反映されてしまうので、意欲的ですごく熱心な生徒もいれば、授業終了後ということもあります。夏は暑さでだらけてしまったり、ちょっと部屋を暗くすると眠たそうな生徒がいたり、なかなか授業態度が悩ましいところが課題と感じるところです。

（教育長）

片桐委員のお話を受け、公営塾担当の松澤学校教育専門主事、いかがですか。（松澤学校教育専門主事）

学年においても実態に多少違いがありますが、普通の授業の時にも集中できない生徒がいることも事実であります。ただ、そうは言っても3年生はいよい

よ、受検校を決めてくる時期になってきますので、少し本気になりかけたかなというようなこともあります。

熊谷委員のお話でありました学力差がやはり課題であります。若駒アカデミーの数学基礎コースは、同じ教材でもいくつか種類を用意して、基本的には全体での説明をした後、各自が学習を進めていき、講師の先生が個別に指導していくような形をとて、学力の基礎を定着させることをしています。

また、発展コースは別でありますし、入試問題級の問題にチャレンジしていくやり方をとってくださる先生もいます。基礎と応用・発展のコース分けて実施していますので、学力差に応じた指導がそこでは整っていることを感じています。(教育長)

塚田委員、いかがでしょうか。

(塚田 宏子 委員)

子どもたちが平等で放課後学習などができる環境があることはありがたいと思います。生徒の保護者からも学習意欲が上がったという声もあります。昔だったら授業がわからないとそのまま過ぎて行ってしまうけれども、そういったところでカバーしていただけるのはありがたい環境だと思います。

(川上学校教育専門主事)

お話が出たので私の考えを言わせていただきます。前回の学力向上委員会での資料に、全国学力学習状況調査の質問指標の中でどのくらい家庭学習をしているかの質問があり、非常に少ない状況でした。それから、あちっ子ライフで今回調べた結果をまとめてみると、大体子どもたちの家庭学習時間は30分。その次が1時間。その次の1時間半になるとぐっと下がり、年々下がってきています。そのことを考えたら、やはりこの公営塾みたいな環境で自分がいけないっていう状況であると考えてくれたら、少しでも力がついてくることもありますので、人数を増やして学習する時間を作っていく。家庭学習の方も校長会や研修会で呼びかけて、実態は今こうだからもっと家庭学習を充実しなきゃいけないことも力を入れていきたいと思っているところです。

(教育長)

いずれにしましても、学校側と協力して一緒になって取り組んでまいります。

⑦ 阿智村児童生徒の学力向上について (学校教育係)

(2) 12月定例教育委員会開催日 12月23日(火)午後1時30分

(3) その他

6 閉会

(午後2時43分)

教育長・教育委員 署名／捺印